

令和3年第9回 新座市教育委員会 定例会
会 議 録

招集期日	令和3年9月28日 午後3時30分	場所	市役所第二庁舎304会議室
開閉日時 及び宣告者	令和3年9月28日 午後3時30分	開会	宣告者 金子 廣志
	令和3年9月28日 午後5時	閉会	宣告者 金子 廣志
教育長	金子 廣志		
委員	議席番号	氏名	出・欠
	1	鈴木 松江	○
	3	脇田 美保子	○
出席職員	議席番号	氏名	出・欠
	2	小泉 哲也	○
	4	宮瀧 交二	○
	①教育総務部長	○	②教育総務部副部長兼生涯学習スポーツ課長
④中央公民館長	—	⑤中央図書館長	○
⑦学校教育部副部長兼学務課長	○	⑧教育支援課長	○
③教育総務課長	○	⑥学校教育部長	○
⑨教育相談センター室長	○	事務局 戸川真理子、城間悦子	
会議事件名	発言者	発言の要旨	
開会	教育長	令和3年第9回新座市教育委員会定例会を開会する。 午後3時30分	
会議録承認	教育長 各委員 教育長	令和3年第8回新座市教育委員会定例会及び第4回臨時会の会議録の承認について質疑はあるか。 承認 令和3年第8回新座市教育委員会定例会及び第4回臨時会の会議録は承認された。	
議案第22号	教育長 教育総務課長	議案第22号「教育委員会の事務に関する点検評価報告書について」を教育総務課長から説明願う。 本議案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、教育委員会の事務に関する点検評価報告書を作成し、議会に提出するため、提案するものである。 今年度の点検評価の対象は、令和2年度新座市教育行政推進施策において位置付けられている事業のうち、教育委員会が所管する事業としている。 なお、これまでは教育委員会が所管している全事業を対象として実施していたが、令和3年度からは、以後3年間かけて全ての事業の点検が完了するよう変更し、令和3年度の対象項目は15施策113事業となっている。 また、具体的な評価方法としては、昨年度と同様に所管課による一次評価、教育委員会による二次評価を実施した後、学識経験者に教育委員会の施策全体に対する講評を頂きたいと考えている。 本日は、所管課による一次評価が終了したため、取りまとめたものを配付させていただいた。教育委員の皆様には、この一次評価を参考にしながら、今後、二次評価の検討をお願いしたい。	

諸報告	教育長 委員	<p>例年、二次評価については、皆様の評価を受け、調整して取りまとめているため、本日は一次評価の結果報告までとし、本議案は継続審議とさせていただきますようお願いする。</p> <p>議案第22号について、質疑はあるか。</p> <p>資料3ページの11番「SNS等の正しい使い方や危険性についての啓発」に記載のある「新座市立小・中学校における携帯電話等の取扱いに関するガイドライン」を参考までに後ほど頂きたい。この他にも二次評価を検討していく中で必要な資料等をお願いすることもあるかと思うが、対応をお願いしたい。</p>
	教育長	<p>また、教育委員としては、令和2年度は学校訪問を一度も実施できなかったが、資料3ページの13の1番「学校訪問の充実」にある教育委員会事務局による学校訪問は計画どおりに行われたのかを確認させていただきたい。</p> <p>資料等については、必要なものを事務局までお知らせいただければ、すぐに用意させていただく。</p> <p>学校訪問は、予定どおり進めている。学校訪問には2種類あり、教員の指導に関するものと出納や消防等の施設設備、人材育成、衛生面など学校管理に関するものである。</p>
	委員	<p>資料5ページの10番「大学との連携による研修等の実施」の欄に7番の「部活動ボランティア指導員の拡充」と同じ内容が記載されており、内容が合っていない。</p>
	教育長	<p>御指摘のとおりであり、申し訳ない。全体を見直して、修正したものを改めて配布させていただきたい。</p> <p>他になれば、議案第22号は、継続審議とする。</p>
	教育長	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る対応について、両部長から報告願う。</p>
	教育総務部長	<p>新座市新型コロナウイルス感染症対策（第7弾）について、昨日、全員協議会で市議会議員に配付した資料と同じものをお配りしたので、御覧いただきたい。</p> <p>本市においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている事業者を支援するとともに、市民の皆様が安心して暮らせるよう検査体制の強化などを図るため、市独自の新型コロナウイルス感染症対策第7弾を実施することとした。事業総額は1億9,510万円である。教育委員会が所管する事業は2件である。</p> <p>1件目は、オンライン授業の環境整備として、感染拡大状況下における授業学習の機会を確保するため、オンライン授業用の端末（指導用クロムブック端末）、配信カメラ、ウェブカメラ等を配備するものである。</p> <p>2件目は、修学旅行等のキャンセル料の補助を行うものである。事業費は補正予算で対応するものと予備費で対応するものがある。新型コロナウイルス感染症対策の</p>

	<p>学校教育部長</p>	<p>臨時交付金を充当する予定となっている。</p> <p>また、9月末日をもって緊急事態宣言が解除される見込みであるため、正式には9月30日（木）に開催予定の新型インフルエンザ等対策本部で決定となるが、社会教育施設の夜間利用の休止は解除する方向で考えている。埼玉県の方針がまだ示されていないため、そちらを確認して決定したい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に係る学校の対応について、前回定例会の8月17日（火）以降の対応を報告申し上げる。</p> <p>まず、8月中旬以降の感染爆発の状況を踏まえ、8月20日（金）に臨時校長会議を開催した。その中では、部活動は土日を含めて週2日以内に制限するとともに、2学期当初の感染状況は混沌とした状況になることが危惧されていたことから、可動式コンピューターの利用により教育機能を維持するよう改めて指示し、準備を進めるよう促した。</p> <p>さらに、始業式1週間前となる8月24日（火）、25日（水）に2日連続で校長会議を開催し、8月30日（月）、31日（火）は短縮日課の午前授業、9月1日（水）、2日（木）、3日（金）の3日間は午前が対面授業、給食後下校してオンライン授業、9月6日（月）以降はOMO型分散登校を実施することとした。OMO型分散登校の詳細は、お手元の資料で御確認いただきたい。</p> <p>現在は、各校の感染状況により、OMO型分散登校若しくは午前対面授業、午後オンライン授業を選択して、教育課程を実施しているところである。10月1日（金）以降は、全ての学校が通常日課による教育課程に戻る予定となっている。</p> <p>また、9月は感染拡大防止の観点から学習活動に大幅な制限をかけざるを得なかったことから、中学校の体育祭は全て中止となっている。代替措置については、感染状況を勘案して学校ごとに検討することとなっている。</p> <p>次に、児童生徒、教職員の感染状況だが、8月の感染者は76名、9月の感染者は、昨日27日（月）までに27名が報告されている。内訳としては、児童67名、生徒31名、教職員5名の計103名となっている。感染者は、主に9月第1週でピークに達しており、その後、減少傾向にあるため、今後、通常授業に戻しても支障がない状況になるものと捉えている。</p> <p>月ごとの推移については、お手元の資料にて御確認いただきたい。</p> <p>なお、例年10月を中心に行っている部活動の新人大会は、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響によ</p>
--	---------------	--

	<p>教育長</p> <p>教育総務課長</p>	<p>り中止とする旨の連絡が中学校体育連盟からあったことを併せて御報告する。</p> <p>両部長からの報告に対する質疑、意見はあるか。なければ、各課からの諸報告に移る。</p> <p>4件の報告をする。</p> <p>①名義後援について、跡見学園女子大学から申請のあった「跡見学園女子大学公開講座」を始めとして計5件の事業に対して承認した。</p> <p>②「令和3年度新座の教育」を作成し、お手元に配付させていただいた。市内教育施設、新座市議会等に冊子を配付するとともに、市内大学、高校、県内の近隣市町には、市ホームページに掲載している旨の通知を送付した。後ほど御一読いただければと思う。</p> <p>③市議会における専決処分についてである。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、小中学校では2学期からオンライン授業を実施しているが、これまでに配備された可動式コンピュータは全て児童生徒用になり、教員用については用意がなかった。そこで、まん延防止策としてオンライン授業の便を図るため、小中学校の普通教室448、特別教室69、合計517教室に稼働式コンピュータを配置するため、補正第7号予算案を上程し、昨日9月27日（月）に議決を頂いたところである。こちらの購入金額が2千万円以上であることから、本来であれば財産の取得においても改めて議会の議決をいただかなければならないが、早急な整備の必要があることから専決処分により対応させていただきたい旨、9月10日（金）に開催された議会運営委員会にて、市議会議員の皆様にご説明したところである。教育委員の皆様にも御承知いただければと思う。</p> <p>④令和3年第3回新座市議会定例会の概要についてである。会期は8月27日（金）から9月27日（月）までの32日間で、市長提出議案は追加議案を含め23件であった。このうち教育委員会関連の議案は、補正予算及び令和2年度決算である。補正予算第6号については、教育費の歳出として、ウイルス対策ソフトの更新料、階段昇降機設計委託料、青少年育成基金積立等を計上し、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった音楽会及びキャリア教育体験事業に係る経費を減額したもので、予算総額における教育費の占める割合は8.31%となった。</p> <p>補正予算第7号については、先ほど御説明したオンライン授業を拡充するため、クロムブックを活用した遠隔授業を行うために517台購入する予算を計上している。計上金額2,921万2千円で、予算総額における教育費の占める割合は、補正前と変わらず8.31%である。</p>
--	--------------------------	--

	<p>中央図書館長</p> <p>教育支援課長</p>	<p>令和2年度一般会計決算の認定については、歳出総額724億6,645万9千円、そのうち教育費は55億1,132万1千円で、教育費の占める割合は7.6%であった。</p> <p>また、今議会の一般質問は25名から質問通告があり、教育委員会関係については20名から31件の質問があった。</p> <p>令和3年度図書館要覧を配付させていただいたので、後ほど参考に御覧いただきたい。</p> <p>3件の報告をする。</p> <p>①令和3年度全国学力・学習状況調査結果概要について報告をする。5月27日(木)に小学校6年生と中学校3年生を対象に全国一斉に実施した。今年度は小中学校ともに国語、算数、数学の2教科で実施した。</p> <p>お手元の資料を御覧いただきたい。市や県の平均値は整数での公表となっており、小数第1位までで公表されている国の平均値との差は幅のある表記となっている。</p> <p>1ページの上段は小学校国語、下段は小学校算数の調査結果である。本市の小学校の平均正答率は、国語、算数ともに県平均と同様となっている。また、全国平均と比べると、国語が0.3ポイントプラス、算数は1.2ポイントマイナスとなっているが、平成31年度の県や国との差と比較すると、追いついてきたことが見て取れる。</p> <p>続いて、資料2ページを御覧いただきたい。上段は中学校国語、下段は中学校数学の調査結果である。本市の中学校の平均正答率は、県平均と比べると、国語が2ポイント、数学が2ポイント下回っている。また、全国平均と比べると、国語が1.6ポイント、数学は2.2ポイント程度下回っている。平成31年度と比較すると、数学において県との差が縮まったものの、全国との差が開くなど、一進一退といったところである。</p> <p>次に、3ページを御覧いただきたい。こちらは、本市と国、県との正答数の分布の比較を表すグラフである。この視点から小中学校の特徴を見ていくと、小学校の国語、算数ともに上位層が若干少なく、中位層から下位層にかけて分布が広がっている現状となっている。</p> <p>続いて、4ページを御覧いただきたい。こちらは、中学校のグラフである。小学校と同様に、国語、数学ともに上位層が少なく、中位層が多くなっている。また、数学に関しては、全体的に平たく分布していることから、個々の学力の差が大きいことが読み取れる。</p> <p>なお、例年、選択式よりも短答式、記述式の方が、新座市、県、全国と正答率の差が大きくなる傾向になって</p>
--	-----------------------------	---

いる。問題の文脈を読み取ったり、自分の考えを表現したりする問いについて、正答率が依然として伸び悩んでいるということが考えられる。これらのことから、学習課題や問題を正しく読み、理解する力と、思考した結果を表現する力とを併せて育てていく必要があると考える。

②令和3年度埼玉県学力・学習状況調査結果概要について報告をする。例年7月に実施されていたが、今年度は5月12日（水）に行われた。児童生徒の学力の伸びなどを経年変化で見ると実施しているものである。小学校4年生から中学校3年生までの児童生徒が対象で、中学1年生までは国語と算数、数学、中学2、3年生は国語と数学と英語の学力を調査している。

調査の概要について御説明する。県は、学力レベルを1から12までの12段階に分け、さらに一つ一つのレベルをAからCの3つに分け、学力の程度を36に分けて捉えることとしている。数字が高くなるほどレベルが高く、CよりもB、BよりもAが高い。それを踏まえて資料を御覧いただきたい。

小学校4年生から中学校3年生にかけて、多くの項目については平均正答率が県に及ばないものの、県平均と同等の学力レベルを維持しているということが分かる。例えば小学校5年生の国語を見ると、どちらも6-A、6-Aという形で推移している。昨年度の小学校5年生の国語は、本市は6-C、今年度は6-Aと2段階伸びていることが分かる。県は6-Bから6-Aと1つの伸びとなっており、本市の学力が追いついたということが分かる。

小学校6年生の算数を御覧いただきたい。伸びは、県、新座市ともに3となっているが、学力レベルは6-Aと1段低くなっている。

続いて、中学校1年生の国語は、学力レベルは同じ8-Cで県と同等となっている。

中学校2年生の数学は、学力レベルと学力の伸びの落ち込みが見られるものの、おおむね学力レベルの伸びは県と同等と言える。

中学校3年生の数学では、昨年度落ち込んでいた学力レベルが県に追いつき、伸びが3と県以上の伸びとなっている。英語においても、昨年度落ち込んでいたものが県と同レベルとなり、こちらも伸びが3となっている。

なお、学校訪問において各学校で学力向上プランの作成をお願いしている。その中では、全国や県学力・学習状況調査の結果を踏まえた課題の抽出とその分析をお願いし、課題解決に向けた具体策を示していただいている。今後も学力・学習状況調査の分析を踏まえた学力向上を目指すとともに自校の課題を踏まえた授業改善に取り組む学校を支援していく。

	<p>教育相談センター</p>	<p>③令和3年度文化面表彰について報告をする。9月現在の表彰者一覧を配付させていただいた。埼玉県硬筆展覧会と身体障害者福祉のための第63回埼玉県児童生徒美術展覧会の結果となっているので、後ほど御確認いただきたい。</p> <p>また、資料には記載がないが、速報として、統計グラフ展において、新座小学校の児童が知事賞を受賞したという情報も入っている。</p> <p>2件の報告をする。</p> <p>①令和3年度第1学期末における長期欠席児童生徒調査について報告をする。1学期末で小学校では37名、中学校では102名であり、それぞれ前年度と比べて、20名、48名の増加となっている。昨年度は、しばらく休校期間があったため、現段階で単純な比較はできないが、新規の不登校児童生徒を増やさないようにすることが前年度からの課題である。比較表のとおり、新規不登校が、小学校では9名、中学校では18名となっている。各学校ごとに見ると、全ての学校が新規不登校は現時点で1桁の数値である。今後、この数を維持できるよう各学校の取組を確認していく。</p> <p>学年別の傾向比較表③を御覧いただきたい。学年別の不登校の割合になるが、折れ線グラフを見ていただくと、現中学校1年生から3年生の不登校の増加が多い状況に加えて、現小学校5年生も注視すべき状況である。8月の定例校長会議においては、各学校には2学期を迎える前に該当家庭に連絡すること、また、短期的、中長期的に目標を設定した上での支援の再検討をすることなど、対応策について話をしたところである。家庭への支援については、令和3年度第1回学校に行きづらい児童生徒保護者の会を7月に実施した。保護者の方の笑顔が見られ、心の交流を図ることができた会となった。現在、第2回目の開催に向けて検討を進めている。</p> <p>②令和3年度第1回生徒指導に関する調査集計についてだが、数値に誤りが見つかったため、現在、学校に再度確認をしている。大変申し訳ないが、次回の定例会にて正しい数値を報告させていただきたい。</p>
	<p>教育長 委員</p>	<p>全体を通じて質疑等はあるか。</p> <p>埼玉県学力・学習状況調査で中学校2年生の数学の平均正答率は、県より約4ポイント低い。この点については、何か評価をしたか。</p>
	<p>教育支援課長</p>	<p>小学校の段階から算数を見ていったとき、大体1ポイントから1ポイント半ぐらゐの落ち込みがある。中学校1年生の数学も同じように1ポイント程度の落ち込みがあるが、2年生から3年生にかけてはまた挽回してきて</p>

		<p>いると思う。ただし、これは縦で見た場合であり、県学力・学習状況調査は横で見ていただく形になるため、例えば先ほどの中学校2年生の数学は、平成29年の小学校4年生のレベルからスタートして、県が5-C、6-C、6-A、7-B、8-Cと推移しているのと比較して、本市は5-C、6-C、6-A、7-B、7-Aとなっている。このように小学校4年生の段階でワンランク下がっているということは、正答率も同じぐらい下がっただろうと想定されるが、小学校5年生のレベルで一度追いついて、小学校6年生と中学校1年生でもそれを維持できていたが、中学校2年生で下がってしまったということが言える。</p> <p>これを分析すると、小学生レベルの内容はある程度挽回できていたものが、中学生になったときに難しさを感じて落ち込んできたということが見て取れる。</p> <p>中学校2年生の数学は、県平均が59.1で、本市平均が55.3ということで、正答率が大変低い。この要因は、教育委員会でも分析をしているわけだが、詳細を見ていくと、学校間の差がかなりあるのが現状である。県平均を上回っている学校もあれば、そうでない学校もあって、平均するとこのような結果になっている。</p> <p>学力・学習状況調査では、小学校からの個人の成績が記録されているため、どのような変化を遂げているかが全て分かる。例えば学級崩壊のような形で、クラスがうまくまとまらないような状態が続いた学級は、必ず次の年に成績が下がる。また、個人によっても何かが引き金になって成績が振るわなくなることもあるし、担任の授業の質の問題も当然問われることになる。</p> <p>平成31年度の結果と比較すると、国、県との差を縮めてきていると言えるが、いずれにしても、しっかり分析をして、各学校と協議をしながら改善に努めていく。</p>
	教育長	<p>埼玉県学習状況調査に関して、中学2年生の数学で言うと55.3で、12段階あるうちの5-Cから6-C、6-A、7-B、7-Aと非常に進歩しているということが読み取れると思う。そういう意味では、各学校で取り組んでいる成果が出ていると考えられる。</p> <p>中学校の数学は長年課題にはなっているところだが、3年生の数学においても、5-Bから8-Aまでかなり改善されているというのが分かる。</p> <p>全国学力・学習状況調査のグラフの横に、今回から四分位数が示されている。これに関して、何か説明などを受けていたら教えてほしい。</p> <p>特に説明は受けていないが、詳しく調べてみる。</p> <p>四分位数は、複数の資料やデータの分布を比較するときに使う箱ひげ図という手法に用いている。例えば、100人いる場合、50番目と51番目が真ん中になる</p>
	委員	
	教育支援課長 委員	

	<p>教育長</p> <p>学校教育部長</p> <p>委員</p> <p>教育相談センター室長</p> <p>教育長</p>	<p>ので、その2人の平均を中央値と言い、第2四分位数として示すものである。全体の平均値では、極端に低い人と高い人がいると、実態が分かりづらい。それに対して、この四分位数による中央値であれば、分布の雰囲気分かる。</p> <p>全国学力・学習状況調査においては、本市の小学校、中学校ともに第1、第2、第3四分位数が全国と埼玉県と同じであり、これを見る限りでは、大体平均的なところに安定していると言えるのではないかと思う。そういう意味では、1、2点の違いは大きな問題ではなく、非常によく頑張っていると私なりに解釈をしている。</p> <p>過去の学習状況調査の結果を全て保管しているが、今年はようやく全国平均に並ぶようになったという状況である。キュビナというICTのドリルを使った学習の成果が少しずつ出てきている可能性も考えられる。キュビナを開発した株式会社COMPASSでは、全国各市町村にソフトを入れており、アクセス数の統計を取っているのだが、本市のアクセス数がトップレベルということで、先日、社長自らが第二中学校の視察にお越しになり、帰りに私のところに寄ってくださった。</p> <p>AI型ドリルに取り組むと、それぞれのお子さんがどれくらい問題に取り組んだかという学習ログというものが残る。株式会社COMPASSでは、その学習ログをモニタリングしているようで、全国何十万人の中でも新座市の学習ログの数かなり上がっているため、どのような学習活動で活用しているのかということ視察された。</p> <p>ドリルという名前に引きずられて、帯学習のような形で取り組んでいる学校が多いのだが、授業中にいかに取り組んでいくかという点を今後の課題として挙げていただいたので、これを各学校にフィードバックし、授業の終末で使って定着させるといった使い方を研究し、基礎的な学力の向上につなげていきたいと考えている。</p> <p>長期欠席児童生徒調査に関してだが、不登校が前年度比でほぼ倍増している。これは、コロナ禍における生活の不安などが要因となっているのか。</p> <p>様々な背景はあるのだが、集団に馴染むのが難しかったり、兄弟関係でどうしても不安があると一緒に休んでしまったりといった要因が挙げられる。コロナによる不安というのは、本調査では把握していないが、いくつかの要因が重なっているところにコロナによる不安が入っているお子さんもいることは事実である。</p> <p>やはりコロナによる心理的な要因はあるのではないかと思うが、統計的に詳しく調べたわけではないので、分析してみないとはっきりしたことは申し上げられない。</p>
--	---	--

閉会	教育長	<p>他に特になければ、次回の会議日程を確認したい。 令和3年第10回定例会は、10月20日（水）午後3時30分から、市役所本庁舎3階304会議室で行う。 これをもって、令和3年第9回新座市教育委員会定例会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">午後5時00分</p>
----	-----	---

以上、会議の顛末を記載し、その相違なきことを証するため署名する。

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員

書 記